

2022 年度 川崎市障がい者スポーツ指導者協議会 事業報告書

1 全体

- ① 2022 年 7 月 20 日に、指導者協議会設立 20 周年を迎えた。その記念に 2023 年 3 月にハンドタオルを作製して会員に配布した。さらに同年同月に、記念事業として研修会を実施した。
- ② また、2022 年度は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症による感染は続いたが、感染防止対策の徹底により、大会等ボランティア、全国障害者スポーツ大会及び市内における団体への会員派遣の活動が再開された。
- ③ また、このような状況下でも障害者スポーツプログラムなどに多くの障害者や会員が参加された。
- ④ 川崎市障害者スポーツ協会のご指導のもとで、マスク着用、手指消毒の徹底、短時間での準備や片付けによる現地の滞在時間を短くするなどの感染防止対策を講じた、結果、幸いにも川崎市障害者スポーツ協会からの要請に基づくボランティア活動において、新型コロナウイルス感染症による感染者は確認されず、2022 年度の事業を終了することができた。

2 会員の推移

232 名（2019 年度）⇒198 名（2020 年度）⇒215 名（2021 年度）⇒217 名（2022 年度）
（参考）初級障害者スポーツ指導員養成講習会修了者数の推移
27 名（2019 年度）⇒24 名（2020 年度）⇒19 名（2021 年度）⇒28 名（2022 年度）

3 会員の育成と活動の促進

(1) 大会及びイベント等への会員派遣の促進

- ① 大会ボランティア参加意向アンケートを 7 月、3 月の年 2 回に加えて、12 月に大会ボランティア参加意向再確認アンケートを実施し、タイムリーな情報発信と会員派遣先のマッチングを行った。
- ② 川崎市障害者スポーツ協会と協力して、大会ボランティア参加意向アンケートの結果を共有し、会員へ連絡の徹底を行った。さらに大会実施要領を事前配布することで会員の事前学習につながった。
- ③ 大会等が中止となった場合は、参加予定していた会員への電話やメール等で周知を徹底した。
- ④ 市内団体への継続的な会員の参加を目的として配布していた「ボランティアスタッフ一覧」は、大会等ボランティア活動等が再開されたことから、2023 年 3 月に会員へ配布した。
- ⑤ 20 周年を記念してユニフォームアンケートを実施した結果、賛成が多かったことから、デザインを一新してユニフォームを作成することとした。現在試作中であり、購入希望者には 2023 年 5 月に配布予定である。

(2) 広報活動の促進

- ① ホームページを随時更新して、会員が必要な情報等（大会ボランティア参加意向アンケート等）を掲載し、会員の拡充を図った。
- ② メールアドレスを登録されている会員に対し、新型コロナウイルス感染症などの情報を発信し、情報共有を図った。
- ③ 協議会ニュースを2回発行した。

第40号（令和4年7月発行）：総会報告、研修報告、表彰制度及び表彰者決定、大会等活動報告、全国障害者スポーツ大会、リハビリテーション福祉センター、大会ボランティア参加意向アンケート 他

第41号（令和5年3月発行）：総会、役員立候補、指導員資格名称変更、初級養成講習会、大会等活動報告、表彰制度に対する意見、役員の手当に対する意見、研修会、総会及び大会ボランティア参加意向アンケート、ユニフォーム申込書及び意見、研修アンケート、ボランティアスタッフ一覧 他

なお、会員以外の障害者関係団体にも協議会ニュースを送付した。

- ④ 会員からの問い合わせについて、きめ細やかに対応した。

(3) 他機関連携

- ① 会員拡充のため、川崎市の依頼により、9月と1月の初級障がい者スポーツ指導員養成講習会に講師を派遣した。
- ② 市内スポーツ団体の依頼により、講師や審判等イベント開催に対する協力を実施した（川崎ボッチャクラブ 他）。

4 会員に向けた事業の開催及び研修会等の実施

(1) 障害者スポーツプログラム等への講師及び会員派遣等の協力

- ① 市内で開催されたスポーツイベントや障害者スポーツプログラム（7月から1月まで開催）に会員を派遣した。

(2) 研修会等の実施

- ① 2023年1月、川崎ボッチャクラブと川崎市障害者スポーツ協会の共催で開催したボッチャステップアップ講座を研修として会員に案内し、24名が受講した。
- ② 2023年3月、元Jリーガーで、現在上越高校の藤川教諭を講師にお招きして、「みんなのやってみたいを育てるアイデア（生徒と地域の実践から）」をテーマに研修会を開催し、一般参加も含めて21名が受講した。

5 市内における障害者スポーツの普及と選手育成及び強化

(1) 選手育成及び強化

- ① 全国障害者スポーツ大会（栃木大会）及び強化練習へ会員を派遣した。

(2) 市内における団体への会員派遣の継続

- ① 陸上競技、卓球、ボッチャ、フライングディスク等に会員を継続して派遣した。

以 上